

# 価値創造メッセージ



かめだ みちや  
**亀田 道也**  
取締役副社長 副社長執行役員  
総務本部長

## ◆ 総務本部の役割

当社グループは「人こそが最大の財産であり競争力の源泉である」と位置づけており、総務本部においては、人的資本と財務資本の双方から企業価値の最大化を支えています。人材の確保・育成、ダイバーシティ推進、働きがいのある職場づくりを体系的に推進し、全従業員がその能力を最大限発揮できる環境を整えます。また、健全な財務基盤の構築と資本効率の最適化を図り、東証プライム市場の高水準なガバナンス要求に応えることで、戦略的成長を力強く支援してまいります。

## ◆ 人的資本経営の深化

第18次中期経営計画において注力する課題の一つは、人的資本経営の深化です。「人的資本経営の推進」としては、採用活動の見直しと多様な人材確保、戦略的リスクリングや教育体系の再構築により、早期戦力化および将来リーダーの育成を進めます。多様性尊重の観点から、女性の採用・育成に積極的に取り組み、管理職に占める女性比率の向上を目指します。また、社員の健康経営の推進や成果に応じた評価制度の構築など、良好な職場環境づくりを進め、働きがいの最大化を図ります。

## ◆ 財務戦略の強化と成長投資

もう一つの注力課題は、資本効率の向上です。「財務戦略の強化」としては、資本コストを的確に把握し、収益性と成長性につながる投資判断を徹底してまいります。「成長投資の実行」としては、新技術研究所の建設、DX推進、サステナビリティ経営や人的資本経営の推進などの戦略投資を実施し、中長期的な競争力強化を図ってまいります。

## ◆ 総務本部長としての使命

当社グループの長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」の実現に向け、100周年を超えた未来を見据えた組織と環境づくりをリードし、この変革期において戦略を具現化してまいります。社員が誇りをもって働ける企業風土と強固な財務体質を築くことで、「ワクワクする未来」の実現に邁進してまいります。



きむら たかし  
**木村 隆志**  
取締役 上席執行役員  
技術本部長

## ◆ 環境エンジニアリングのパイオニアとして

当社グループは、設備工事業と機器製造販売事業を兼ね備えた、メーカー機能を併せ持つ環境エンジニアリングカンパニーです。創業から100年の歴史で培われた空気・水・熱の科学に基づく高度な技術を活かし、持続可能な社会の実現に貢献しています。

## ◆ 収益力強化と生産性向上への挑戦

第18次中期経営計画においては、収益力の強化と生産性の向上を二つの柱として掲げています。半導体工場、データセンター、ビジネス環境施設といった大型プロジェクトに全社を挙げて取り組むことで、設備工事業と機器製造販売事業のシナジーを最大限に活かし、収益基盤のさらなる強化を図ります。施工現場では、BIM (Building Information Modeling) を活用したDX (デジタルトランスフォーメーション) 開発を推進し、生産性向上に努めています。

## ◆ 研究開発と新たな価値創造

今秋完成予定の茨城県つくば市の「つくば技術研究所」を拠点に、当社の強みであるアグリ・バイオ分野の研究開発を一層加速させるとともに、積極的な投資を通じてブランド力の確立を目指します。また、もう一つの強みである脱臭分野においては、生産環境施設への脱臭装置導入実績を拡大し、事業のさらなる成長を推進してまいります。さらに、つくば技術研究所では省エネ技術を最大限に活用した「ZEB (Zero Energy Building)」の実現にも取り組み、実際の運用を通じて性能検証を行い、省エネ性能の極限に挑戦します。

## ◆ 技術本部長としての使命

長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」で掲げた「ワクワクする未来」の実現に向け、社員一人ひとりが情熱と誇りを持ち、やりがいのある、楽しく働ける環境づくりに注力しています。そして、社員の「想像力」と「創造力」を最大限に引き出し、研究開発力と設計・施工技術力を高めることで、人と地球の豊かな未来の実現に取り組んでまいります。



なかがわ かずひろ  
**中川 和浩**  
取締役 常務執行役員  
営業本部長

## ◆ 国内建設市場の動向

国内における建設投資の状況を見ますと、民間では大型データセンター、半導体関連、医薬品、化学系、自動車系、食品関連製造施設、大型都市再開発などへの投資計画が活発です。官庁においても公共施設、官庁施設、防衛省による自衛隊隊舎強靱化など、民・官ともに昨年同様の活況を呈しており、この状況は今後数年堅調に推移すると予測しております。

## ◆ VUCA時代における成長戦略

しかしながら、ロシア・ウクライナやイスラエル・イランに代表される国際紛争の影響、トランプ関税などの不確実な要素により、設備投資の凍結や無期延期が発生する事例も見られます。このような『VUCAな時代』を乗り越えながらの“成長戦略”としては、当社の

強みである空調・衛生・プラント設備へのバランスの取れた取り組みと、機器製造販売事業や海外拠点との連携強化が必須であると考えております。

## ◆ 受注活動の進捗と重点課題

『第18次中期経営計画』における重点項目である【戦略的かつ長期的視野に立った受注活動の推進】については、グループ内での営業情報の早期共有による“ターゲットを明確にした受注活動”の成果により、順調に進捗しております。また、物件の受注価格の大型化は昨年と同傾向であり、1物件が全社業績に与えるインパクトが非常に大きいため、確実な受注が可能となるよう、全社レベルでの早期情報共有の徹底と丁寧な営業活動に努めてまいります。

## ◆ 営業本部長としての使命

本年度より新しい長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」を策定し、スローガンとして「ワクワクする未来をカタチに」を掲げました。世の中に新たな感動と価値を創造する“エンジニアリング・コンストラクター”として、さらなる成長に向け邁進してまいります。



いとう よしのり  
**伊藤 義徳**  
取締役 執行役員  
経営統括グループ統括

## ◆ 経営統括グループの役割

経営統括グループは、社長室、経営企画室、DX推進室を統括し、グループ全体の戦略立案と推進、ならびに経営の持続的成長に向けた全社的な調整役を担っています。当グループのミッションは、長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」の実現に向け、全社横断的な経営資源の最適配分とガバナンスの強化を通じて、変革をリードすることにあります。

## ◆ サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ経営の推進に関しては、特に気候変動対策を最重要課題と位置付け、科学的根拠に基づく目標設定 (SBT) 認証を取得し、ネットゼロ社会の実現にコミットしました。環境負荷低減と事業成長の両立は容易ではありませんが、多様なステークホルダーとの対話を通じて、持続可能な価値創造の加速を目指しています。

## ◆ DX戦略の推進と課題対応

DX戦略においては、デジタル技術による業務の効率化や新たな価値創造を推進しています。同時に、社員のデジタルリテラシー向上やシステム連携の複雑化といった課題にも対応しております。これらの課題解決には、部署横断の協働と段階的な施策推進が不可欠であり、全社一丸となって取り組んでいます。

## ◆ 経営統括グループ統括としての使命

長期ビジョンで掲げる「ワクワクする未来」を実現するため、経営統括グループは「想像力」と「創造力」をキーワードに革新的価値の創造を牽引します。社員一人ひとりのエンゲージメント向上と、多様な人材が力を発揮できる組織文化の醸成に注力し、チャレンジを後押しします。また、持続可能で信頼される企業基盤の整備を統括し、環境や社会の変化に柔軟かつ迅速に対応可能な経営体制づくりを使命としています。

これらの取り組みにより、2050年の持続的成長と社会課題の解決に貢献し、社会からより一層期待される存在となることを目指してまいります。